導入事例

腹臥位時の挿管チューブ固定で、頬のこけた患者でも皮膚を保護しながら固定できるようにしたブリーズロックの導入事例

2026.11.11　#頬こけ　#挿管チューブ　#ブリーズロック　#腹臥位



500床規模の急性期病院ICUでは、腹臥位時の挿管チューブ固定において、皮膚のただれがありテープ固定ができず、頬がこけているために従来品でも固定できない患者への対応が課題でした。頬がこけている患者でも挿管チューブを固定できることを重視し、ブリーズロックを採用した事例です。

公開日：2026年11月11日

導入先	500床規模 急性期病院 ICUの看護師
使用場面	ICUにおける腹臥位時の挿管チューブ固定
目的	テープ固定ができない頬がこけた患者の腹臥位時の挿管チューブ固定

1. 事例のご紹介

2. 許容したこと・注意点

3. お客様コメント

4. 使用製品

事例のご紹介

500床規模の急性期病院ICUでは、腹臥位時の挿管チューブ固定に課題を抱えていました。対象となったのは血液疾患のある患者で、皮膚のただれがあるためテープによる固定ができませんでした。また、頬がこけているため、従来品でも挿管チューブを固定することができませんでした。

ブリーズロックは、頬のこけた患者に対しても、皮膚を保護しながら挿管チューブを固定できる点が評価され導入されました。導入して間もないため、固定方法に習熟していないスタッフにはその都度レクチャーを行いながら運用しています。

許容したこと・注意点

・ベルトの固定が1か所のため、挿管チューブがやや下にずれることがあること
・汗や皮脂によってベルト固定部の粘着テープの耐久性が落ちることがあること

お客様コメント

「患者さんの皮膚保護には十分に役に立つ。まだ導入したばかりで固定方法をマスターできていないスタッフもいるため、都度レクチャーしている。」

使用製品

製品名：ブリーズロック
採用品番：280
この事例での役割：テープ固定ができない頬のこけた患者に対し、腹臥位時の挿管チューブの固定を支援
製品ページ：https://meilleur.co.jp/product/breezelock-endotracheal-tube-holder/

よくある質問

Q　なぜブリーズロックが採用されたのですか？

A.　頬がこけている患者でも皮膚を保護しながら挿管チューブを固定できる点が評価されたためです。

Q　挿管チューブがやや下にずれることがある点は問題になりませんでしたか？

A.　ベルトの固定が1か所のため挿管チューブがやや下にずれることがある点は把握したうえで、頬がこけた患者にも使用できる点を優先し許容されました。

次の記事 〉

一覧に戻る

製品カタログ一覧

お問い合わせ